



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年10月4日朝刊東部版



防護柵の正しい設置方法を解説する井上さん（中央）
＝下田市

地域全体で対策 鳥獣被害を防げ

下田市が住民向け講習会

下田市は3日、鳥獣被害対策講習会を同市の朝日公民館周辺で開いた。高齢者や女性にもできる簡易的な対策を学び、被害の未然防止につなげる狙い。

地元住民約20人が参加し、鹿児島県鳥獣被害対策アドバイザーな井上雅央さん(73)が講師を務めた。井上さんは「安心して食料を得られる場所に動物は集まる」

と指摘。一部の住民で追い払おうとしても効果は薄く、地域全体で対象を威嚇する必要性を強調した。

商品価値の無くなった果物でも動物にとつては餌に変わったりと解説。葉や根っこなども動物の手の届く場所に捨てると、「結果的には、えつげ」と同じだ」と説き、電気柵は作物の収穫後も作動させておくよう求めた。受講者は公民館

から近くの畑に移動し、対策状況を確認した。

市によると、市内ではイノシシやシカなどが1年あたり計600頭ほど捕獲されている。30万〜40万円程度の被害が発生しているという。産業振興課主事の鈴木琢磨さん(24)は「狩猟者以外の市民にも未然防止策を講じてもらえるよう積極的に周知する」と言葉に力を込めた。

下田支局・伊藤龍太

①見出しの「鳥獣被害」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。

(**ちょうじゅうひがい**)

②下田市内では、主にどんな動物による被害が発生していますか。

(**イノシシやシカ**)

③写真に見られるような「防護柵」を設置する目的は何ですか。

(**(被害を与えるような)動物が畑に入らないようにするため。**)

④記事の講習会では、鳥獣被害を防ぐためにどんなことが大切だと強調していますか。

[**(一部の住民で追い払おうとしても効果は薄いので、)地域全体で対象の動物を威嚇すること。**]

⑤鳥獣被害を防ぐためにあなたができることを考え、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)動物の餌にならないように食べ残しの果物を捨てておかないこと。(30字)
野菜の葉や根っこを動物の手の届く場所に捨てないようにする。(29字)
電気柵や防護柵に触れたり、いたずらしたりしないこと。(26字) など

年 組 名前

作問者:静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、総合)